

中高生職場体験における 「わいわい文庫」の活用の取り組み

東京都立中央図書館
司書 古峰 実香

東京都立中央図書館について

都立中央図書館は、1973年、都心にありながら緑豊かな有栖川宮記念公園内（東京都港区南麻布）に開館しました。蔵書数は国内の公立図書館では最大級の約225万冊を所蔵しており、このうち、新しい図書を中心に約35万冊を開架しています。来館される方への閲覧サービスや調査研究への支援、都内公立図書館に対するレファレンスの支援や資料の貸し出しなどをおもな業務として、サービスを提供しています。

視覚障害者サービスについて

前身である都立日比谷図書館は、1970年頃、視覚障害者の大学生から専門書の音訳の要望があり、対面音訳サービスを開始しました。都立中央図書館では1973年の開館当初から対面音訳サービスを実施しています。

都立中央図書館開館当初は図書館の1階でサービスを行っていましたが、後の改修工事により3階に移転し現在に至っています。

対面音訳室4室、録音室4室、多目

的室1室とプレクストーク、拡大読書器、音声拡大読書器（よむべえ）、OCRソフト、音声読み上げソフトを備えたパソコンなどを用意しています。

職員4名（司書1、福祉2、非常勤1）とアシスタント職員5名、業務委託スタッフで運営しています。対面音訳、録音、編集に携わる音訳者は87名が登録しています。録音など製作に携わる音訳者はそのうち30名ほどです。



視覚障害者サービス入口を入ったところ

視覚障害者サービスで実施している利用者サービスについて

都内在住、通勤、通学の視覚障害者等の方を対象とする登録制です。備付の機器は、登録利用者以外の方でも利用できます。

所蔵資料のほか、全国の図書館、点字図書館からDAISY図書、点字図書などを取り寄せて貸し出ししています。

リクエストによりDAISY図書、点字図書を製作しています。マルチメディアDAISY図書は2015年頃から製作を始め、自館製作は31タイトル（2022年度末）所蔵しています。

また、都内公立図書館が新たに製作した資料リストを登録利用者、図書館、点字図書館、視覚特別支援学校等に隔月で送付しています。

対面音訳サービスは同時に4名まで利用可能で、2日前までに予約が必要です。特に時間制限なしで利用できますが、音訳者は2時間または3時間で交替します。

2023年度からZoomを使用したオンラインによる音訳サービスも開始しています。同時に2名（対面音訳同時利用4名の内数）まで利用可能です。



対面音訳室

主催研修事業等

東京都立多摩図書館とともに、都立図書館及び都内公立図書館で活動する音訳者のための音訳者講習会（初級・中級・専門）を毎年開催しています。また、都立図書館及び都内公立図書館の職員を対象とする障害者サービスに役立つ研修や担当者事務連絡会を毎年開催しています。都内公立図書館が主催する障害者サービス関係研修に講師として職員を派遣しています。

このほか、都内公立図書館を対象とする障害者サービスの統計調査「東京都公立図書館調査 障害者サービス調査」を毎年実施しています。



研修風景

職場体験、研修受入

都内の中学校・高等学校の職場体験、大学生のインターンシップ、図書館学実習（司書課程を履修する大学生の実習。期間は全体で2週間ほど）、教員研修、国会図書館職員研修、都立図書館新入職員研修など、各種の実習、研修を受け入れています。

2023年度は、神津島村立神津中学校、東京学芸大学附属国際中等教育学校、東京都立西高等学校、東京都立白鷗高等学校附属中学校、図書館学実習生、教員研修を受け入れました。

実習、研修では館内各部署を回るため、視覚障害者サービス室での持ち時間は1時間～1時間半ほどです。内容は業務説明、点字図書、DAISY図書の紹介、点字で自分の名前カードを打つ体験、サピエ図書館の検索、「わいわい文庫」の紹介などです。

「わいわい文庫」Ver.BLUEは著作権者の許諾を得て製作されているので、障害の有無に関わらず利用することができ、実習、研修の場でも見てもらうことができます。



職場体験の様子

絵があり、文字や背景の色を変更できるなどの特性を持ち、ビジュアル面で関心を引きつけます。実習、研修が終わった後も、あのときマルチメディアDAISY図書を見たな、と印象に残るのではないかと思います。

後になって、マルチメディアDAISY図書が障害のある子どもたちに役立っていることが理解され、学習に役立つといいなと思っています。



盲導犬「ご利用をお待ちしていますワン！」